

週毎のあなたの支援目標		具体的な実践計画	取り組んだ内容	取り組みから気づいたAさんのこと	次週の実践計画に活かすこと
3 週 目				※気づいたことは様式1に転記する(●、△、○)	
	支援目標にあげた理由			取り組みを通したあなた自身の気づきや考え ※今までの自分の実践を振り返って考えたこと等	
週毎のあなたの支援目標		具体的な実践計画	取り組んだ内容	取り組みから気づいたAさんのこと	今後の実践計画に活かすこと
4 週 目				※気づいたことは様式1に転記する(●、△、○)	
	支援目標にあげた理由			取り組みを通したあなた自身の気づきや考え ※今までの自分の実践を振り返って考えたこと等	
上司からのコメント					

※ 実習期間中繰り返し押さえてほしいこと

- 実習の目的から外れずAさんの望む暮らしの実現に向けて取り組み、考える姿勢を持ち続ける
- 受講生の取り組みの達成ではなく、実習がAさんのペースに添っているか、Aさん主体の取り組みになっているかを振り返りながら行う

実習の目的

- ① 利用者が望む生活の実現に向けて適切なアセスメントを通じて利用者の望む暮らしと支援目標を明確にすることができる。
- ② 利用者の望む暮らしの実現に向けた具体的な実践(課題の解決や改善を含む)を行うことができる。
- ③ アセスメントや利用者の望む暮らしの実現に向けた取組み等をチームで実践することができる。そのために、どのように「利用者の望む暮らしの実現」のために取り組みたいと考えているのかを自分の言葉でチームメンバー(利用者・家族・スタッフ等)に伝え、理解と承諾を得て、実践する。
- ④ 取り組み全体を振り返りながら、今後の実践に結びつけるための具体的な「かかわり」を見いだすことができる。